

部課名		市民部市民総務課											
課の使命		・市民ニーズを的確に把握して、多様な要望にバランス良く応えることができる施設の管理運営を行います。 ・市民部長を補佐し、部内及び庁内各部署との連絡・調整を図り、市民部が良質な行政サービスを提供できるように組織のマネジメントを図ります。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	事務 事業 見直し	施設管理業務 の見直し	・各市民センター・コミュニティセンター毎に作成していた委託仕様書を見直し、類似する仕様を統一します。 ・また、各施設で個別に締結していた委託契約を集約し、契約事務や会計事務の効率化を図ります。	委託契約件数の削減率	30%削減								
2	個別 計 画	「まちだ施設案内予約システム」の更改	・2027年2月のシステム更改に向けて、新システムを構築します。 ・また、新システムの運用を開始します。	システム更改	新システムへの更改								
3	人材 育 成	市民志向/ チームワーク 志向	・課内研修を実施し、全職員が他の係の業務に関する問い合わせに対応できる事例集を作成します。 ・施設貸出業務については、各施設窓口での実地研修を実施します。 市民からの問い合わせへの対応事例集を作成し、課内で共有し、市民サービスの向上を図ります。	対応事例集の作成	作成								
4	全 庁 で 取 り 組 む 施 策	「シティプロモーション」	①庁内外の関係各所と連携し、地域の魅力を届けるプロモーション活動を実施します。参加者がコミュニティセンターを身近に感じる機会を創出することで、新たな利用者の開拓と施設の活性化を図ります。 ②コミュニティセンターで実施する庁内外の関係各所とコラボした事業を、各種広報媒体を通じて発信します。	①庁内外の関係各所と コラボした事業の実施回数 ②コラボ事業を、各種広報媒体を通じて発信した回数	①2回 ②4回								

部課名		市民部市民協働推進課											
課の使命		地域、企業、行政といった多様な主体が対話を重ね、アイデアを出し合い実現することで、行政だけでは成し得ない新たな価値を共に創り出し、持続可能な地域社会づくりに寄与する。 町内会・自治会やNPOなどの団体が、ひと・もの・かね・場・情報などの地域資源を活用することで、コミュニティ活動が活性化し、より魅力あるまちになることを目指す。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	経営 改革 プラン	地域、企業、行政等多様な主体がアイデアを出し合い、地域課題を解決していくプラットフォームづくり	①多様な主体が連携して地域課題解決に取り組む「寄り合い-The YORIAI-」の実施や地区協議会事業の支援等、地域のやりたいを実現するため、人や団体をつなげ、伴走支援を行います。 ②「町田市における地域コミュニティの未来に関する共同研究」の成果を市民にも広く周知するため、報告会を開催します。	①多様な主体の連携による地域課題解決のための取組数 ②研究成果報告会の実施	①75件 ②実施								
2	重点 事業 プラン	地域で活動している団体の組織基盤の強化	①町田市地域活動サポートオフィスへ地域活動の支援事業を委託し、市民活動団体や市民活動を始めてみたい人向けの相談や講座を実施します。 ②今年度20回目を迎える町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」を軸に、団体・企業・個人等がつながるマッチングの機会を創出するとともに、日ごろの相談からも「やりたいこと」「できること」をつなげる取組を進めます。	①活動の活性化につながった団体数 ②マッチング件数	①35団体 ②12件								
3	-	町内会・自治会の加入促進及び運営基盤の強化	①町内会・自治会の負担軽減や、デジタル媒体に親しんでいる若年層等の加入促進に向け、町田市町内会・自治会連合会が推進するSNSの活用を支援します。 ②町内会・自治会と大学やNPO法人など多様な主体との連携や町内会・自治会同士の連携を促進することで、地域活動への関心や参加者を増やし、地域活動の成り手不足の解消へつなげます。	①SNS導入を支援した地区連合会の数 ②連携事業数	①5地区 ②5事業								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
4	-	町内会・自治会が所有する集会所の管理・運営支援	集会所を所有する町内会・自治会から集会所に関する相談を受け付け、市や専門事業者が管理・運営に関するアドバイスをを行います。また、町内会・自治会の実情に応じた集会所の管理・運営支援を行っていくため、2025年度に実施した町内会・自治会へのアンケート結果や他自治体へのアンケート結果を参考に、集会所整備事業の要綱を改正します。	①相談を受けた集会所数 ②要綱の改正	①25施設 ②要綱の改正								
5	全庁で取り組む施策	「シティプロモーション」	市内外の多くの人が、市内で活動する様々なコミュニティに関心を持ち、「住みたい」「住み続けたい」という気持ちを育むように、コミュニティの魅力を発信していきます。	情報発信件数	165件								
6	人材育成	「市民志向」	多様な主体と連携することで地域課題の解決や新たな価値の創造につなげるため、職員向けに共創・協働意識の向上を図る取り組みを行います。	共創・協働を意識している職員の割合	72%								

部課名		市民部市民協働推進課 男女平等・消費生活担当											
課の使命		＜男女＞性別にかかわらず、一人ひとりが尊重され、個性と能力を十分発揮できる男女平等参画社会の実現を目指します。 そのために、市民への意識啓発・情報提供、「女性悩みごと相談」の運営による女性への支援、また庁内調整等を通して、「男女平等推進計画」を着実に推進します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 プラン	「性の多様性の尊重」	様々な年齢層に性の多様性の理解促進を図るため、講座、講演会等による啓発のほか、ホームページ、SNS等のソーシャルメディアを活用して更なる情報発信を行います。	ホームページ、SNS等のソーシャルメディアによる情報発信回数	20回								
2	個別 計画	男女平等参画の総合的かつ計画的な推進	男女平等参画社会の実現のため、昨年度実施した市民アンケート調査やLGBTQ当事者、学識経験者などの意見を計画に反映させ、パブリックコメントを実施するなど、2026年度の計画策定に向けて検討を進めます。	次期計画の策定	策定完了								
3	個別 計画	雇用や職業等の場における男女平等参画の推進	町田市仕事と家庭の両立推進企業賞の認知度を向上させ、より多くの市内企業に応募してもらえるよう、SNSの活用や他部署との連携を行い、周知を強化します。	町田市仕事と家庭の両立推進企業賞の周知回数	11回								
4	その他	消費者被害防止を目的とした啓発活動の実施	消費者被害に関する啓発活動に関し、若年者に対して啓発を行います。特に高校生への啓発については、学校に取り組んでもらえるような働きかけを行います。	若年者向け啓発実施回数	6回								
5	人材 育成	「市民志向」	正確かつ安定した業務を行うため、業務マニュアルの整備を行うとともに、情報共有を推進します。	新規に作成した業務マニュアル数	2件								
6	全庁で 取り組む 施策	「障がい者への差別を解消し共生社会の実現」	障害のある市民が来庁、イベントに参加された際の対応方法についての研修を実施します。	研修の実施	実施								

部課名		市民部市民課											
課の使命		一人ひとりのお客様のニーズを的確に把握し、それに応じたサービスを親切・丁寧・迅速・正確に行い、市民満足度を高めます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	個別 計画	「待たない窓口」の実現と窓口業務の効率化	「待たない窓口」を実現させるため、ホームページや広報、窓口対応時に市民へ積極的に予約サービスを周知します。	①オンライン予約率 オンライン予約件数/受付全体件数 ②窓口平均待ち時間	①25% ②7分								
2	経営 改革 事業 プラン 見直し/ /	コンビニ交付推進による窓口業務の効率化	・各種イベント等で効果的な広報を実施します。 ・各市民センターと連携して、マイナンバーカードの取得案内を随時行います。 ・他部署と連携して広報活動を実施します。 ・庁内にコンビニ交付可能なキオスク端末を設置し、操作方法の案内を行います。	証明書交付件数(住民票・印鑑・戸籍)におけるコンビニ交付の割合	51%								
3	経営 改革 プラン	マイナンバーカード出前申請受付実施	マイナンバーカード出前申請受付において、新規申請の受付及びマイナンバーカード更新対象者の申請受付を実施し、窓口の混雑緩和を図ります。	マイナンバーカード出前申請受付の実施回数	64回								
4	個別 計画	戸籍に氏名の振り仮名を追加	2026年11月末までに、町田市に本籍のある34万人の振り仮名を、戸籍に記載します。	振り仮名の戸籍記載の完了	完了								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
5	全庁で 取り 組む 施策	出生届のオンライン化/「子どもにやさしいまちの実現」	窓口に来なくても、出生届をマイナポータルからオンラインで届出できるようにします。	オンライン受付の開始	開始								
6	全庁で 取り 組む 施策	玉川学園コミュニティセンター児童図書 の返却方法の 拡充/「子どもにやさしいまちの実現」	「子どもにやさしいまち」の実現に向け、子どもが本に触れる機会を増やし、健やかかつ豊かに育つよう、児童図書室の利用方法を変更します。平日夜間や休日など、窓口の営業時間を気にせず、借りた本がいつでも返せるように、返却ポストを設置します。いつでも本が返せることで、親子で気軽に児童図書室を利用していただけるようにします。また、子どもたちが使い方を理解し、安心して利用できるよう、子ども向けの案内ポスターを館内に掲示します。	返却ポストの設置	実施								
7	人材 育成	「市民志向」/ 「改革・改善志向」	市民から寄せられたご意見を基にした、業務の改善を図り、サービスの向上に取り組みます。	業務改善数	10個								

部課名		市民部忠生市民センター											
課の使命		利用されるお客様に対して、正確かつ迅速なサービスを提供します。市民センターを安心して快適な地域住民の交流の場として、また地域コミュニティの核として利用できるよう維持管理に努めます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	事務 事業 見直し	施設利用の促進	新たな利用者の開拓のために、利便性の向上を図るとともに、庁内他部署や地域住民等と連携して、市民センターを活用した事業を実施します。	市民センターで実施した利用促進策の件数	3件								
2	個別 計画	地域との連携の強化	地域の拠点として地域活動団体や相談支援機関等と連携していくために、地域活動への支援及び地域市民相談の充実を図ります。	①地域活動団体と連携して実施した事業の回数 ②地域の相談支援機関と連携して相談会を開催した回数	①3回 ②3回								
3	人材 育成	「チームワーク志向」	市民センター全体がワン・チームとして環境の変化に対応できる組織風土を醸成していくために、市民センター間の連携の強化に取り組みます。 ・各市民センターの業務内容の比較・検討を行うため、担当者会議を実施します。 ・比較・検討の成果を活用して、業務の改善を行います。	業務の改善を行った件数	3件								
4	全庁で 取り組む 施策	「障がい者への差別を解消し共生社会の実現」	①障がいのある市民が来庁した際の対応方法について、研修を実施します。 ②障がい福祉課と連携し、忠生市民センターまつりで障がい理解に向けた啓発活動を行います。	①研修の実施 ②周知啓発活動の実施	①実施 ②実施								

部課名		市民部鶴川市民センター											
課の使命		利用されるお客様に対して、正確かつ迅速なサービスを提供します。市民センターを安心で快適な地域住民の交流の場として、また地域コミュニティの核として利用できるよう維持管理に努めます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	事務 事業 見直し	施設利用の促進	新たな利用者の開拓のために、利便性の向上を図るとともに、庁内他部署や地域住民等と連携して、市民センターを活用した事業を実施します。	市民センターで実施した利用促進策の件数	3件								
2	個別 計画	地域との連携の強化	地域の拠点として地域活動団体や相談支援機関等と連携していくために、地域活動への支援及び地域市民相談の充実を図ります。	地域活動団体と連携して実施した事業の回数	3回								
3	全庁で 取り組む 施策	「障がい者への差別を解消し共生社会の実現」	障がいのある市民が来庁した際の対応方法についての研修を実施します。	実施	1回								
4	人材 育成	「チームワーク志向」	市民センター全体がワン・チームとして環境の変化に対応できる組織風土を醸成していくために、市民センター間の連携の強化に取り組みます。 ・各市民センターの業務内容の比較・検討を行うため、担当者会議を実施します。 ・比較・検討の成果を活用して、業務の改善を行います。	業務の改善を行った件数	3件								

部課名		市民部南市民センター											
課の使命		利用されるお客様に対して、正確かつ迅速なサービスを提供します。市民センターを安心して快適な地域住民の交流の場として、また地域コミュニティの核として利用できるよう維持管理に努めます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	事務 事業 見直し	施設利用の促進	改修工事により拡張されるロビーの利活用を検討し、リニューアルオープン後の利用率向上を図ります。	ロビーの利活用案の作成	作成								
2	個別 計画	地域との連携の強化	①地域の拠点として地域活動団体と連携し、地域活動への支援の充実を図ります。 ②地域の拠点として相談支援機関等と連携し、地域市民相談の充実を図ります。	①地域活動団体と連携して実施した事業の回数 ②地域の相談支援機関と連携して相談会を開催した回数	①1回 ②9回								
3	人材 育成	「チームワーク志向」	市民センター全体がワン・チームとして環境の変化に対応できる組織風土を醸成していくために、市民センター間の連携の強化に取り組みます。 ・各市民センターの業務内容の比較・検討を行うため、6か所のセンターの持ち回りによる担当者会議を実施します。 ・比較・検討の成果を活用して、業務の改善を行います。	業務の改善を行った件数	3件								
4	全庁で 取り組む 施策	「障がい者への差別を解消し共生社会の実現」	障がいのある市民が来庁した際の対応方法についての研修を実施します。	研修の実施	実施								

部課名		市民部なるせ駅前市民センター											
課の使命		利用されるお客様に対して、正確かつ迅速なサービスを提供します。市民センターを安心で快適な地域住民の交流の場として、また地域コミュニティの核として利用できるよう維持管理に努めます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	事務 事業 見直し	施設利用の促進	新たな利用者の開拓のために、利便性向上と庁内他部署や地域住民等と連携して、市民センターを活用した事業を実施します。	市民センターで実施した利用促進策の件数	3件								
2	個別 計画	地域との連携強化	地域の拠点として地域活動団体や相談支援機関等と連携していくために、地域活動への支援及び地域市民相談の充実を図ります。	①地域活動団体と連携して実施した事業の回数 ②地域の相談支援機関と連携して相談会を開催した回数	①1回 ②24回								
3	人材 育成	「チームワーク志向」	市民センター全体がワン・チームとして環境の変化に対応できる組織風土を醸成していくために、市民センター間の連携の強化に取り組みます。 ・各市民センターの業務内容の比較・検討を行うため、6か所のセンターの持ち回りによる担当者会議を実施します。 ・比較・検討の成果を活用して、業務の改善を行います。	業務の改善を行った件数	3件								
4	全庁で 取り組む 施策	「障がい者への差別を解消し共生社会の実現」	障がいに対する理解促進のため、福祉団体からの物資購入及び連携した活動を実施します。	①物資購入 ②活動回数	①新規1品目 ②1回								

部課名		市民部堺市民センター											
課の使命		利用されるお客様に対して、正確かつ迅速なサービスを提供します。市民センターを安心して快適な地域住民の交流の場として、また地域コミュニティの核として利用できるよう維持管理に努めます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	事務 事業 見直し	施設利用の促進	新たな利用者の開拓のために、利便性の向上を図るとともに、庁内他部署や地域住民等と連携して、市民センターを活用した事業を実施します。	市民センターで実施した利用促進策の件数	3件								
2	個別 計画	地域との連携の強化	・地域の拠点として地域活動団体や相談支援機関等と連携していくために、地域活動への支援及び地域市民相談の充実を図ります。	①地域活動団体と連携して実施した事業の回数 ②地域の相談支援機関と連携して相談会を開催した回数	①3回 ②3回								
3	人材 育成	「チームワーク志向」	市民センター全体がワン・チームとして環境の変化に対応できる組織風土を醸成していくために、市民センター間の連携の強化に取り組みます。 ・各市民センターの業務内容の比較・検討を行うため、担当者会議を実施します。 ・比較・検討の成果を活用して、業務の改善を行います。	業務の改善を行った件数	3件								
4	全庁で 取り組む 施策	「障がい者への差別を解消し共生社会の実現」	障がいのある市民が来庁した際の対応方法についての研修を実施します。	研修実施	実施								

部課名		市民部 小山市民センター											
課の使命		利用されるお客様に対して、正確かつ迅速なサービスを提供します。市民センターを安心して快適な地域住民の交流の場として、また地域コミュニティの核として利用できるよう維持管理に努めます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	事務 事業 見直し	施設利用の促進	新たな利用者の開拓や利便性の向上を図るために、修繕工事後に取り組む事業案を作成します。	修繕工事後に実施する 事業案の件数	2件								
2	個別 計画	地域との連携 の強化	・地域の拠点として地域活動団体や相談支援機関等と連携していくために、地域活動への支援及び地域市民相談の充実を図ります。 ・修繕工事の進捗状況について、地区協議会等の場で周知を行います。	地域活動団体と連携して 実施した事業の回数	3回								
3	人材 育成	「チームワーク志向」	市民センター全体がワン・チームとして環境の変化に対応できる組織風土を醸成していくために、市民センター間の連携の強化に取り組みます。 ・各市民センターの業務内容の比較・検討を行うため、センターの持ち回りによる担当者会議を実施します。 ・比較・検討の成果を活用して、業務の改善を行います。	業務の改善を行った件数	3件								
4	全庁で 取り組む 施策	「障がい者への差別を解消し共生社会の実現」	障がいのある市民が来庁した際の対応方法についての研修を実施します。	研修実施	実施								